

を簡単に列記してあります。また **関連ユニット：Unit ○○** ではそのユニットと関連性の高いユニットが記してあるので、そのユニットも一緒に読めば理解度が多いにアップするでしょう。

各ユニットでは文法項目をいくつかのセクションに分け、一文か二文程度で説明がなされ、例文が添えてあります。例文は理解の手助けとなるのでかならず読んでください。説明が終わったら **Before I forget...** で文法事項を確認しましょう。各ユニットの最後は **まとめ問題** となっていて、全体的な理解を促す問題が出されています。かならず解いて、クラスで答えを確認しましょう。各ユニットをしっかり消化すれば「○○を使って英文が書ける」「英文が読みやすくなる」といった総合的な力が徐々についていくことでしょう。

各ユニット、ゆっくりでかまいませんが、ペースを崩すことなく進めていきましょう！読み終える頃にはきっと今まで頭の中にかかっていたモヤモヤが晴れているはずです。

最後に、本書の企画の段階から適切なアドバイスをいただきお世話になった、朝日出版社の日比野忠氏、および英文校閲で多大なるご協力をいただいた Mary Tadokoro さんにこの場を借りて感謝の意を表します。言うまでもなく本書の文責はすべて筆者に帰します。

2013年9月

筆 者

CONTENTS

この本の使いかた

英文法用語集

| | | |
|----------------|--------------------|----------------------------|
| Unit 1 | コトバの役割を知ろう | 品詞 … 2 |
| Unit 2 | 文が伝える目的 | 平叙文、否定文、疑問文、命令文 … 7 |
| Unit 3 | 文の基本は「だれが」「何を」「する」 | 主語、目的語、第1文型、第3文型、第4文型 … 12 |
| Unit 4 | 「XはYだ」になる文 | 第2文型、第5文型、補語 … 17 |
| Unit 5 | 時間・位置・つながりを示すコトバ | 前置詞 … 22 |
| Unit 6 | 時間のあらかた | 現在形、過去形、未来形、進行形 … 27 |
| Unit 7 | 過去が今に影響を与えるできごと | 現在完了形 … 32 |
| Unit 8 | 完了形は過去・未来にも使える | 過去完了形、未来完了形 … 37 |
| Unit 9 | 二つの文をつなげよう | 文接続詞、従属節 … 42 |
| Unit 10 | 文中に別の文を埋め込もう | 埋め込み文 … 47 |
| Unit 11 | 比較のしかた | 比較級、最上級 … 52 |
| Unit 12 | スル・サレル | 能動態、受動態 … 57 |
| Unit 13 | 人をくわしく描写しよう | 名詞修飾、関係代名詞 … 62 |
| Unit 14 | モノをくわしく描写しよう | 名詞修飾、関係代名詞 … 67 |
| Unit 15 | 分詞を使ってなにかを描写しよう | 現在分詞、過去分詞、分詞修飾、受動態 … 72 |
| Unit 16 | 場所や時間を示す関係節 | 関係副詞 … 77 |
| Unit 17 | 主語と接続詞を省略した従属節 | 分詞構文 … 82 |
| Unit 18 | 見たこと・聞いたことを述べる | 知覚動詞、第5文型、受動態 … 87 |
| Unit 19 | なにかをさせる、してもらう | 使役文、第5文型、受動態 … 92 |
| Unit 20 | 話し手の判断 | 法助動詞 … 97 |
| Unit 21 | もしもの世界を述べる | 法助動詞、仮定法過去、仮定法過去完了 … 102 |
| Unit 22 | 不定詞と動名詞のはたらき | 形容詞的用法、副詞的用法、名詞的用法 … 107 |
| Unit 23 | 主語は短いほうがいい | 形式主語、不定詞、動名詞 … 112 |
| Unit 24 | ネイティブのモノの見かた | 冠詞 … 117 |

F 前置詞

名詞の前に置き、時間、空間、状態などを示す語

(go) **at** noon 「正午に (行く)」、(play) **in** the park 「公園で (遊ぶ)」、
(study) **with** you 「君と (勉強する)」、(fall) **in** love 「恋に (おちる)」…

Before I forget... 8

前置詞に注意して次の文を和訳しよう。

- a. There is a pen on the table. 「。』
b. This present is only for you! 「。』
c. I go to school by bus every day. 「。』
d. I talked to my new teacher. 「。』
e. Pick any fruit from this basket. 「。』

G 文接続詞

二つの文をつなげる語

等位接続詞：X と Y を同等につなげる接続詞

1. He is a student **and** I am (a student), too. 「彼は学生で (そして)、僕も学生だ。」
2. He is a student **but** I am not (a student). 「彼は学生だが、僕はそうじゃない。」

従位接続詞：接続詞に続く文がメインの文の説明になる接続詞

1. I like her **because** she is friendly. 「人なつこいから僕らは彼女が好きだ。」
2. I like her **although** she is not friendly. 「人なつこくないけど僕らは彼女が好きだ。」
☞ because/although 以下の文 (サブの文) を**従属節**という。

Before I forget... 9

接続詞以降の文がサブの文ということに注意して和訳しよう。

- a. I brushed my teeth before I went to bed last night. 「。』
b. I was late for class since there was an accident at the station. 「。』
c. When I was watching TV, someone knocked on the door. 「。』
d. Although I did not study last night, I did well on today's test. 「。』

H (法) 助動詞

動詞の前に置くことにより、その文に対する話し手の判断を示す語

1. He **is** talented. 「彼には才能がある。」(法助動詞なしの文)
2. He **may** be talented. 「彼には才能があるかもしれない。」
3. He **must** be talented. 「彼には才能があるに違いない。」
4. He **cannot** be talented. 「彼には才能があるわけがない。」

Before I forget... 10

次の助動詞を含んだ文を和訳しよう。

- a. Susan, you **should** study hard before the examination. 「。』
b. You **must** be 20 years old in order to drink alcohol. 「。』
c. If you finish the project, you **may** go home. 「。』

このユニットのポイント

- それぞれの語の品詞がわかれば文の構造が見えてくる。
- 文の基本は主語 (名詞) と述語 (動詞)。
- 「A が B を修飾する」とは A が B を説明し B をきわだたせること。
B が名詞の場合：修飾語 A は形容詞
B が名詞以外の場合：修飾語 A は副詞
- 前置詞は名詞の前につけて位置や時間関係をはっきりする。
- 接続詞は文と文をつなげるが、接続詞を使ってメインの文を修飾する文を**従属節**とよぶ。

まとめ問題

A このユニットで出ていない単語を各品詞ごとにそれぞれ五つあげよう。

1. 名詞：
2. 動詞：
3. 形容詞：
4. 副詞：
5. 前置詞：

Unit 2

文が伝える目的

この Unit で学ぶこと：(1) 平叙文 (2) 否定文 (3) 疑問文 (4) 命令文

ものごとを (1) 肯定的に述べる、(2) 否定する、(3) たずねるには特定の形を使う。

A 人称、単数、複数

| | 単数 | 複数 |
|-----|--|---------------------------------------|
| 一人称 | I 「私」 | we 「私たち」 |
| 二人称 | you 「あなた」 | you 「あなたたち」 |
| 三人称 | he 「彼」、she 「彼女」、it 「それ」、 the cat 「その猫」、など | they 「彼ら／それら」、 the cats 「その猫たち」、など |

B be 動詞と一般動詞

be 動詞：I am Japanese. 「私は日本人だ。」の am のように X と Y をつなぐ動詞

一般動詞：I love you. 「僕は君を愛している。」の love のように be 動詞以外の動詞

| | 過去形 | | 現在形 | | 未来形 | |
|-------|-----------|------------|----------|-----------|--------------|----------------|
| | be 動詞 | 一般動詞 | be 動詞 | 一般動詞 | be 動詞 | 一般動詞 |
| 一人称単数 | I was | I loved | I am | I love | I will be | I will love |
| 二人称単数 | You were | You loved | You are | You love | You will be | You will love |
| 三人称単数 | He was | He loved | He is | He loves | He will be | He will love |
| 一人称複数 | We were | We loved | We are | We love | We will be | We will love |
| 二人称複数 | You were | You loved | You are | You love | You will be | You will love |
| 三人称複数 | They were | They loved | They are | They love | They will be | They will love |

C 平叙文：「X は Y だ」と事実をありのままに述べる文

主語 + 動詞 + X ← X に何が来るかで文型が決まる。(Unit 3, Unit 4 参照)

be 動詞：I am tired. 「私は疲れている。」、John is a student. 「John は学生だ。」

一般動詞：I like you. 「君が好きだ。」、Jane sings well. 「Jane は上手に歌を歌う。」

Before I forget... 1

次の平叙文を書こう。

- a. _____。「Lisa は毎日走る。」
b. _____。「私は大阪に住んでいます。」

B 次の文の下線部の品詞名を書こう。

1. Tom_a can_b speak_c French_d because_e he_f lived_g in_h Paris_i.
a. _____ b. _____ c. _____ d. _____ e. _____
f. _____ g. _____ h. _____ i. _____
2. May_a I_b go_c home_d before_e it_f gets_g too_h dark_i?
a. _____ b. _____ c. _____ d. _____ e. _____
f. _____ g. _____ h. _____ i. _____

C 訳文を見て、品詞のはたらきを考え、() に入る適切な語に○をしよう。

1. The (true / truthful / truth / truthfully) of the case still remains a mystery.
「その事件の真相は依然謎のままだ。」
2. She sang that musical piece (wonder / wondering / wonderful / wonderfully).
「彼女はその曲を見事に歌った。」
3. Look! What is that (move / moving / motion / movement / moved) thing?
「見て！あの動いているモノは何？」
4. Go buy some (freeze / freezing / frozen / freezer / frost) fruit at the store.
「お店で冷凍のフルーツを買ってきて。」

D 品詞に注意して次の日本語を正確に英訳しよう。

1. _____.
「Tom と Lisa は明日、George のパーティに来ないかもしれません。」
2. _____.
「僕は図書館に行ったが、私の友人は私と（一緒に）来なかった。」
3. _____.
「先月、僕の彼女は僕にかっこいい帽子を二つ送ってくれた。」 かっこいい = cool